

## コロナウィルス対応関連情報

コロナウィルスの感染拡大はまだ先の見えない状況が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。森林総研では研究職員の在宅勤務や一般職員の交代制（隔日出勤）が奨励される事態となっており、一日も早く感染が終息し普通の生活に戻ることを願ってやみません。先月のニュースレターでは各参加機関でのコロナ対策を特集しましたが、何かお役に立つことができたでしょうか。回答をお寄せいただいた担当者の皆様に改めて御礼申し上げます。通常、ニュースレターではセミナーなどイベント開催の報告や告知がメインとなりますが、ご承知の通り、現在のところあらゆるものが中止または延期となっております。そこで今回はウェブサイトからコロナウィルス対応に関連する記事等をピックアップし、皆様にご紹介いたします。

### 災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン（案）

「e-Gov 電子政府の総合窓口」というサイトにこのような意見募集がありました。すでに4月28日に募集を締め切っていますが、このガイドラインには災害が起こった時だけでなく、常日頃からどのように女性の目線も取り入れた備えが必要であるかなどが盛り込まれています。今回のコロナ禍はやや異なるかもしれませんが、これも一つの「災害」と捉えれば、現状への対応や今後感染拡大が収まってからの心構えなど、参考にできる内容も多々あるのではないのでしょうか。

WEBサイト（pdf資料あり）：

<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=095200360&Mode=1>

### コロナ対応に見る、ダイバーシティなき集団が有事にもものすごく弱い理由

President~Womanのサイトに、「中野信子・牛窪恵 緊急対談④」として4月8日にこの記事が掲載されました。脳科学者の中野さんとマーケティングライターの牛窪さんの対談で、今回のコロナ対応における政府や自治体のリーダーシップについて言及しています。その中で、日本の政府はダイバーシティの側面が圧倒的に弱く、均質性の高い集団（＝年配の男性）が意思決定していることに限界がある、と指摘しています。そのことが顕著に表れたのが2月下旬の学校一斉休業の要請で、これには多方面から反発の声が聞かれました。あれから約2か月が経ち、すでに遠い出来事のように日々コロナ感染拡大の状況は進んでしまいましたが、その当時を思い返すとこうした危機管理システムの根本的な問題も見えてくるのが、この記事を通して浮かび上がってきたように思います。

WEBサイト：<https://president.jp/articles/-/34399>

（ほかの対談もコロナ禍に関わる興味深い内容となっております）



森林総研（つくば）4月24日撮影

## 森林総研ダイバーシティ推進室 DSO事務局 行く人・来る人

### DSO事務局退任にあたってのご挨拶

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所  
企画部 上席研究員（前ダイバーシティ推進室長）  
高山 範理

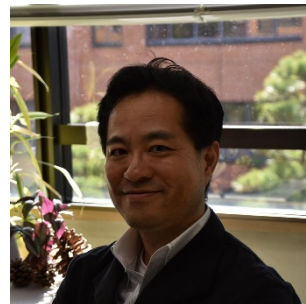
このたび、三月末日を持ちましてダイバーシティ推進室から異動の運びとなりました。在任中はDSO参加機関ご担当者のみなさまには大変お世話になりました。衷心より感謝申し上げます。森林機構（森林総研）でDSOの会長・事務局をお引き受けして約半年が経過しました。当初は不安の中からのスタートではありましたが、なんとかここまで大過なく続けてこられましたのはみなさまのサポートのおかげです。在任中、様々な形でご指導・ご協力くださいましたこと、心より御礼申し上げます。

個人的な思い出としましては、4回ほど参加させていただいたDSO懇話会や交流会におきまして、みなさまと色々な情報交換をさせていただきまことに尽きます。新たな知識や考え方を得る上で職務的にもとても有用でしたが、アンコンシャスバイアスへの気づきなど、個人的に目から鱗な体験が多々ありました。その他にも事務局の担当を通じて、得難い経験をさせていただいたことが多々あり、DSOに関わったことに本当に感謝しております。異動後は企画部上席研究員としてダイバーシティ推進室をサポートする立場になります。DSO参加機関の皆さまにもお目にかかることになるかと思いますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

一方、森林機構のDSO会長・事務局機関としての任期は次の定時総会までございます。組織的にはしっかりと引き継いでいくつもりです。今後は、事務局としまして、新室長の伊ヶ崎と事務局メンバーの田中（会長代行）、松原を中心とした体制の下、森林総研ダイバーシティ推進室として、これまで以上に熱意をもって業務対応させていただく心づもりですので、みなさまにおかれましても、これまでと変わらぬご高配のほどどうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナ禍の真っ最中でございます。ご担当者の皆様におかれましては、健康に気をつけて益々のご活躍をお祈りいたします。

DSOおよび各参加機関およびご担当者各位のさらなる発展を心より祈っております。本当にいろいろとありがとうございました。



### ダイバーシティ推進室長着任のあいさつ

企画部 研究企画科ダイバーシティ推進室長  
伊ヶ崎 知弘



はじめまして、4月より森林総研のダイバーシティ推進室長に着任しました伊ヶ崎です。現在、森林機構でDSOの会長職及び事務局を引き受けておりますが、新年度より会長職の担当理事が交代しました。本来であれば、年度の早い時期に臨時総会を開催し新会長就任の承認をいただくこととなりますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で時期が若干遅れることと思っております。その点についてご理解いただければと思います。このような状況ですが、私自身は事務局の一員として、DSOの活動に貢献していきたいと考えていますので、参加機関の皆様のご指導ご協力をお願いできればと思っています。

当方は1996年より森林総研に勤め、研究を行ってききましたが、ダイバーシティ推進の必要性や重要性などについてこれまで十分に考えてきたことがありません。今後は先を走る皆さま、さまざまな講師の方からの意見やアイデアなどを取り入れ、自分なりに解釈し実行に移していくことで、ダイバーシティ推進にわずかながら貢献できるのかなとおぼろげに考えています。

（次頁へ続く）

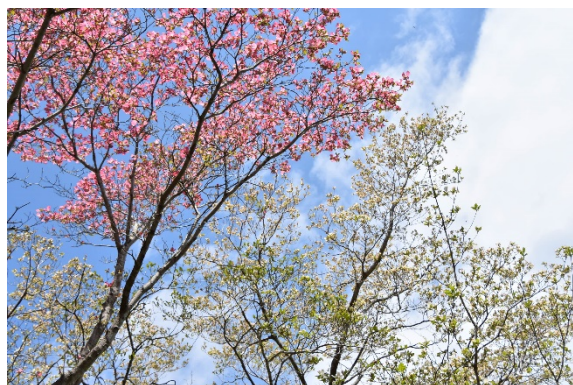
(前頁からの続き)

ダイバーシティ推進には自身もつ無意識の偏見に気づき、多様性を受け入れることという準備的な段階が十分に達成されることがまず重要で、そこがクリアできると思考の枠を広げることや柔軟性と創造力を高めることができるのかな、などと想像を膨らませています。私はまだ無意識の偏見に気づく努力をする段階でしょうか。まずは十分に知識を拡充することを目指したいと考えています。こうした点からも多くの皆さまにご迷惑をおかけすることとなります。精いっぱい努力しますので、皆さまには温かい目で見守り、アドバイスなどの支援をしていただきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

最後に現在人類を脅かす新病原体のパンデミック(世界的大流行)に遭遇していますが、私たちを含む多くの人々が健康に気をつけ、この騒動が早く収束することを期待しています。



森林総研(つくば) 4月24日撮影



ニュースレターへの記事をご投稿ください!

ダイバーシティサポートオフィスのご案内

「DSO Newsletter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして原則毎月最終週に発行しております。掲載を希望する記事がありましたら、数行の記事でも結構ですのでぜひお寄せください。

- ・シンポジウムやセミナー、講演会など、イベントのお知らせ
- ・最近行なわれたイベント報告、あるいは参加報告
- ・最近取組中のこと
- ・その他、お役立ちや関連情報

宛先: [dso-secretary@ffpri.affrc.go.jp](mailto:dso-secretary@ffpri.affrc.go.jp)

参加機関内外への当Newsletterの紹介も歓迎いたします。  
バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。

ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)は、研究教育20機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画などダイバーシティに関わる活動を連携して推進しています。主な活動の一つとして、参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行なっています。当初は科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

\*DSOメンバー: 産業技術総合研究所、森林研究・整備機構、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学、量子科学技術研究開発機構、建築研究所(加入順)